

私立大学のIR ～データの共有と活用～

日 時：2019年7月19日（金）14:00～17:15（受付：13時30分～）
場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）5F「穂高の間」
東京都千代田区九段北4-2-25 ☎03-3261-9921（代表）
主 催：日本私立大学協会附置私学高等教育研究所

私立大学ではIR部署の設置率は増加しているが、近年更に多様なレベルでのIR機能の強化が求められている。大学教育の質保証が進められ、学修成果の可視化といった教学面の課題が提起されている。高等教育の無償化の関連では機関要件に関わり成績管理や財務、進学情報等の公表も必要となり、私立学校法改正によって一層の情報公開が義務付けられてきた。このような環境下で大学の教学面や経営面に係る改善を計画的に進めていくためにはIRの果たす役割は今まで以上に重要になってくるであろう。

そこで今回の研究会では、私立大学の幅広い改革、改善資するデータの検討と比較を行い、IR部署で可能である取組みを整理し、中小規模の大学を含めて共通の課題を探ることとしたい。大学の内外の比較データから読み取れる情報や分析結果をどう活用すべきか、データの共有に当たってどのような課題があるのか、そもそもどういったデータが必要であり、共有が可能なのかなどに焦点を当てて、各大学の事例報告や成果を踏まえて、IR研究の新たな方向性を大学関係者で共有することにしたい。

1. 趣旨説明

「データ/インフォメーションシェアの動向と方向性」

山田 礼子 氏（同志社大学 社会学部 教授/私学高等教育研究所 研究員）

文部科学省では今年度中に国としては初めての大規模大学生調査の実施を予定している。ここで得られたデータについては個々の学生に還元する一方で、各大学の現状を示すデータとして活用することが検討されている。ただ、こういった取り組みを行う以前から、共通の学生調査データを使って全体及び大学間の比較を行っている大学IRコンソーシアムや地域のコンソーシアム内での情報共有を行っている事例もある。ここでは学生調査の動向やIRをめぐるデータ等のシェアの在り方について事例を踏まえて報告する。

2. 事例報告

「国内外のデータシェアリングの現状―「大学基本情報」を事例に―」

森 利枝 氏（大学改革支援・学位授与機構 教授/私学高等教育研究所 研究員）

どのようなデータを共有するかについては、大学間のみならず大学の中でも困難なケースが少なくない。先行事例であるアメリカのデータシェアリングの現状や大学改革支援・学位授与機構が現在公開している「大学基本情報」の概略について紹介し、日本におけるデータ共有の可能性や方向性について探る。

3. ワークショップの説明とデータ活用事例

堺 完 氏（大分大学 アドミッションセンター 講師/私学高等教育研究所 研究協力者）

ワークショップの説明に加えて、「大学基本情報」で何かできるか、データ集計・分析を紹介する。

休 憩

4. IRワークショップ

進行：堺 完 氏、コーディネーター：山田 礼子 氏、森 利枝 氏

事例報告や参加者の所属する大学等でのIRの現状と課題を話し合い、IR活動に必要なデータは何なのか、どういう観点で分析を行い結果等の共有を図るのか、など参加者相互に意見交換して考察する機会として、グループディスカッションを中心とした参加型ワークショップを実施する。

5. 総括

西井 泰彦（私学高等教育研究所主幹）

お申し込みは…

日本私立大学協会 web サイト (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) “協会トピックス” の本件から「申込フォーム」に記入の上、7月12日（金）までにお申し込み願います。

*会場の都合により先着120名、1機関3名迄とさせていただきます。参加料は無料です。

*ご欠席の場合は、必ず下記問い合わせ先までご連絡頂きますよう、お願い申し上げます。

*ご登録頂いた情報は、本研究所の事業運営の活動に必要な範囲に限って利用致します。

【問い合わせ先】日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 坂下景子、遅澤泰 TEL：03-5211-5090